

町民・職員・関係機関ヒアリングのまとめ（主な意見）

メインカテゴリ	サブカテゴリ	意見
コミュニティ	自治会	自治会ボランティア等役員をしてくれる人がいない
コミュニティ	自治会	自治会の担い手不足
コミュニティ	自治会	自治会の単位が今となっては細かすぎる
コミュニティ	自治会	統合の検討が進まない（物理的に離れていることが一因。）
コミュニティ	自治会	所属世帯数が少なくなり、クリーンアップ等、既にできていないこともある
コミュニティ	自治会	住民自治の考え方が根付かない
コミュニティ	自治会	サラリーマンが増えてコミュニティに入る人が減っている。入る必要がない
コミュニティ	自治会	自治会より土地管理に人がいないことに不安
コミュニティ	移住者	移住者、新規就農者が地域になじみづらく孤立しがち
コミュニティ	行事	宇田郷地区はふれあいクラブのスポーツ行事が交流（生存確認）のきっかけにもなっている
コミュニティ	団体	スポ小で子どもに教えてくれる方がいない。年齢にバラつきあり教える側も大変
コミュニティ	ふるさと教育	阿武町にても阿武町のことをよく知らないまま外に出ていく子どもが結構いる
コミュニティ	ふるさと教育	核家族が増えた分、地域が祖父母の役割を担う必要がある。山遊び、磯遊びが親子共々体験できていない。
コミュニティ	移住者	移住者が増えてきて人や家族構成がわからない→イザという時、大丈夫か？
震災・防災	人材（技師）	有事の際の現場対応～復旧の人が少ない、いない（特に復旧の設計）
震災・防災	避難所	火事の際の避難所の指定がされていない
震災・防災	避難所	避難所の非常電源が、長期滞在に対応したものではない
震災・防災	空き家	空き家の除却を進めて防災空地を確保するための指針が必要
震災・防災	被災者支援	被災後のケアをいかにするかが問題
震災・防災	消防団	消防団報酬の充実
スマート自治体	業務効率化	ペーパーレス化の推進
スマート自治体	議会	資料準備対応・文字起こし等の負担、傍聴者への閲覧性向上の課題
スマート自治体	システム導入	平日の時間外問い合わせへの対応、土日の帰省客・観光客からの問い合わせへの対応（チャットボットシステムの導入や窓口外注化など）
スマート自治体	システム導入	タブレット端末やチャットボットシステムの導入
スマート自治体	システム導入	電子申請よりは、電子決済（現金で支払いに来るよりは、電子決済やキャッシュレス化の導入）
スマート自治体	広報	スマホ世代への対応（デジタル化することによる印刷代削減効果。自治体LINE@の活用等）
交通安全	免許返納	免許返納者への対応、返納への促進策（踏み間違い防止装置の導入促進、公共交通のワゴン化）
政治参加	主権者教育	宇田郷選挙区18歳投票がゼロだった
政治参加	投票所	今後増加する、投票所へ行けなくなる人への対応
インフラ	老朽化	千歳橋の老朽化
インフラ	老朽化	漏水

インフラ	人材（技師）	設計・照査ができる人がいない
空き家	特定空き家	行政代執行にはハードルがある
空き家	特定空き家	危険空き家の増
公営住宅	定住促進住宅	有効的な整備・活用（地元の人が住んでいる）
公営住宅	単身者向け	ニーズはあるが、整備が進んでいない
技師	職員の専門性	職員の専門性の確保が喫緊の課題（採用面、研修面）
環境	家庭ゴミ	ゴミ出しの場所が遠く出しにくくなっている高齢者がいる
環境	家庭ゴミ	ゴミはヘルパー。民生委員に言ってくる人もいるが、できないと断っている。近所の人に依頼して出してもらっている人もいる。
環境	家庭ゴミ	ゴミ収集場所に持って行くことが難しい。（家が点在しており自治会のゴミステーションまでが遠い。ゴミが重い。車やねこぐるま、シニアカーで持って行くが、高齢になり持って行けなくなった。）
環境	家庭ゴミ	ゴミステーションを増やしてほしい。（宇生賀地区：古紙回収場所が1カ所。トイレを改修して雨に濡れないようにしようとしているが、他にも含め4カ所収集してほしい。）
環境	家庭ゴミ	来年4月から自治会などか玄関先まで取りに行くという国の方針の報道があった。軒数も少ないため、補助金などメリットがあるなら自治会もできるのでは。→環境省：高齢化社会に対応したごみ出し支援（来年3月にガイドライン完成見込み）
環境	家庭ゴミ	ごみの分別がわかりづらい。雑草と一緒に畑で燃やしている
環境	家庭ゴミ	家のそうじ、ゴミ出し、排泄が上手くできず家がめちゃくちゃ
環境	家庭ゴミ	遠方の家族へゴミ出し情報が渡っていない
環境	事業所ゴミ	道の駅・福祉施設・学校の生ゴミが家庭ゴミとして出されている
環境	事業所ゴミ	ゴミ収集に時間がかかっており、業者の負担となっている（＝阿武町からの支出も多い状況）
環境	事業所ゴミ	事業所ゴミ削減に表彰
環境	プラゴミ削減	道の駅いつまでレジ袋配布？
環境	プラゴミ削減	レジ袋の有料化。道の駅でも検討。マイバック持参のポイント還元
環境	海岸ゴミ	海岸に多く漂着している
環境	海岸ゴミ	鳴き砂担い手少ない、役場頼り
環境	海岸ゴミ	リングが雇っている人の高齢化
環境	啓発	公用車のPSV化
生活支援	移動支援	高齢者の車の運転で高齢の方同士で外出する
生活支援	移動支援	高齢者が増え、自動車の運転ができない人が多く、集会など集まりにくくなっている
生活支援	精神疾患	家のそうじ、ゴミ出し、排泄が上手くできず家がめちゃくちゃ
生活支援	共助の仕組み	ちょこっとサービスの立ち上げが必要では
生活支援	共助の仕組み	地域事業組織
福祉	高齢者福祉	集団レクから、本人の力を生かしたデイサービスを
福祉	高齢者福祉	デイサービスに通いながら、自分で稼げる仕組みづくり
福祉	高齢者福祉	デイサービス以前の人たちの活躍の場がない

福祉	高齢者福祉	居宅での老老介護
福祉	高齢者福祉	宇田郷地区で親の看護の為に帰ってくる60代が増加中
福祉	高齢者福祉	家で死にたい。子どもや近所に迷惑かけたくないが、実質むずかしい
福祉	高齢者福祉	認知症＝要介ゴ認定要因 男女ともに1位
福祉	高齢者福祉	高齢単身世帯を孤独死予備軍としない対策が必要
福祉	障害者福祉	町内の当事者が町外へ、町外の方が町内へ、という入れ子構造になっている
福祉	障害者福祉	施設の配置場所を町内へ。周辺住民との丁寧な関係性づくりを。
福祉	子供・子育て世帯	ファミリーサポートの充足
福祉	子供・子育て世帯	Iターンの人は頼る実家がないので、仕事と子育ての両立が困難
福祉	子供・子育て世帯	高齢者、障害者、独居の方へのファミリーサポートの拡充
福祉	子供・子育て世帯（ネグレクト・DV）	時々疑わしいケースがあるが、保育園に預けている間に相談先に行くなど、自助努力でやり過ごしていると考えられる（表に現れにくい問題であるが、対策は必要である）
福祉	特別支援児（発達障害）	保育所訪問で”気になる子”が増えている
福祉	特別支援児（発達障害）	支援が必要な子どもの増加
福祉	特別支援児（発達障害）	発達、配慮が必要な子供、一步深い関わりが必要な子供が増えている
福祉	特別支援児（発達障害）	萩野事業所（カラフル）に通う子が多いが、待機が多い状況
福祉	特別支援児（発達障害）	保育園と健康福祉課との間で、支援や配慮に関する期待値のすり合わせが必要
福祉	特別支援児（発達障害）	発達専門の保育士の配置（もしくは専門の講習等）や機関の設置が必要
福祉	特別支援児（発達障害）	家族に対する支援も必要
福祉	介護人材不足	ヘルパー等を利用希望は多いが人が少なく対応ができない
福祉	介護人材不足	人が少なく休みもとりにくい
福祉	介護人材不足	特養 恵寿苑 待機者
医療	医師・看護師不足	複数の病院を利用する方も多く、どうしても萩市の医療機関に行きがち
医療	医師・看護師不足	土日休診で診療所が休みだと、休み明けまで我慢している先生の機嫌をそこねそうなので…
医療	地元医療	人口減少等に伴う患者数の減。少子高齢化、人口減、町外医療機関への受診増により、経営困難。
医療	地元医療	病態の複雑化・多受診者の増。高齢化・老老介護等の様々な要因により病態の複雑化。多受診も多く、医療間連携が重要。
医療	地元医療	萩医療圏内の医療機関の弱体化。医師不足により萩市内の医療機関（特に内科）が弱体化。マンパワー不足。山口圏域等との直接連携等が発生。二次救急、三次救急の問題。
医療	地元医療	在宅医療を行ううえで、最低限の医療機器は必要であり、現在は機器による専門診断は萩市内医療機関と医療間連携していたが、マンパワー不足等により医療間連携も困難となる。
健康増進	予防	血圧の高い方が増えている（高齢者）（漁業集落＝醤油過多、飲酒過多）
健康増進	予防	福賀地区は血糖値が高い方が多い
健康増進	予防	特定保健指導を断られる
健康増進	予防	脳血管疾患にかかる人が多い
健康増進	予防	子どもに虫歯が多い

健康増進	予防	保護者の方に歯のことを教育していく
健康増進	食	食を通じた健康増進（作る力の強化）魚さばける塾
健康増進	食	町内の食材を使った配食サービス（ひとり暮らし高齢者、単身者、育児家庭などにニーズ）
教育	学校と地域との関係	子どもに視点をおいた施策展開が必要
教育	社会教育	子どもを中心とした社会教育が必要（阿武町は高齢者向けが多い）
教育	教育格差	阿武小と福賀小の児童数の違い
教育	教育格差	菫に塾にかよう子、かよえない子がいる
教育	不登校・いじめ	保健室登校もいる
教育	不登校・いじめ	小中学校で不登校の児童・生徒がいる。親の関心がない方がいる
教育	不登校・いじめ	小中学校で不登校の子どもが増えている
教育	不登校・いじめ	不登校学生保護者の会（あすなる会）の継続
教育	ふるさと教育	地域の大人との接点づくり
教育	コミュニティスクール	保護者の意識づくり
教育	コミュニティスクール	狙いが共有できていない（土日に樹齢クラブが草抜き。地域の人が「人手」として関わるのみ）
教育	福賀小学校	僻地教育の支援が必要
教育	福賀小学校	福賀小は次年度新1年生がいない。どうなるか不安
教育	学校給食	地元自給率が下がってきた（出荷者の高齢化、法人の担い手不足など）
教育	学校給食	地元の魚を食べることができていない（運搬・下処理・同一規格での発注の都合）
教育	学校給食	「会話をせずに20分以内に完食」の徹底→食べる楽しみの減退
教育	学校給食	生産者が学校に出向く機会はあるが、児童と話をするのができない→食育の崩れ
教育	学校給食	給食を楽しく食べることができていない。給食の時間に余裕がない（15分）@福賀小
教育	学校給食	生産者として学校に赴いても、生徒と話す時間がない
教育	社会教育	阿武町の社会教育（ひとづくり）が言語化できていない
教育	社会教育（公民館事業）	公民館事業の形骸化
教育	社会教育（公民館事業）	公民館事業の企画力が落ちている（職員が多忙、専門性がない）
教育	社会教育（公民館事業）	受付・支払いの利便性が悪い
教育	社会教育	公民館事業以外での社会教育の場作りの促進（ラボ、こどもラボなど）
教育	社会教育	人数が少なく集団で活動、遊ぶ機会が減っている（子ども）
教育	英語	保育園の英語の取り組みが、小中学校につながらない
教育	英語	英語を学ぶこと自体が目的化している
教育	英語	英語に触れる環境にあることが、移住策と結びついていない
教育	ジオパーク	関心層を増やす

教育	自然体験	各地区をフィールドとした子どもの自然体験、海の中でのアクティビティ
教育	地域連携	大人と子ども、学校と地域をつなぐコーディネーター
教育	学校運営	夏休みを短くして、学校教育に余裕を持たせる
教育	0歳からの自然体験	保・小・中・高のトップと、保護者が会議をする（教育委員会がコーディネート）
教育	0歳からの自然体験	移動（運転手）の確保
教育	0歳からの自然体験	木材家具を公共施設に導入（小学校の机の天板を自分たちで作るプログラムなども有り）
教育	放課後	児童クラブがあまり充実した内容となっていない（先生の手が回らない）
保育園	本園と分園	本園と分園の交流。交流からも外へ出る機会を。
保育園	今後のあり方検討	園児数の減少を踏まえた保育あり方
保育園	人材育成	保育の研修機会が少ない
保育園	給食	魚を食べる機会が少ない
保育園	園児の体力	保育園児の歩く力が落ちている
子育て	支援	ファミリーサポート事業があると非常に助かるし、自分も他の家庭の助けになることができる
子育て	子育てと仕事・自己実現の両立	女性が安心して産み育てる環境、働く環境が必要
子育て	子育てと仕事・自己実現の両立	子育て中に少しでも余暇時間を設けることができると、新しいチャレンジの時間に当てることができる
子育て	教育環境	学力の低下が気になる。選択肢に限られる中、納得して預けることができる学校やクラブがあると良い
教育	放課後	放課後児童クラブと子どもクラブの問題（目が十分に行き届かない）
公共交通	買い物支援	公共交通機関の利用者が少ない
公共交通	買い物支援	JAの規模が縮小して困ることが増えた
公共交通	買い物支援	宇田郷地区うおなの郷で最低限の買物はできるが営業時間が短く土曜もかく週で休み
公共交通	買い物支援	宇田郷、福賀で移動販売車を待つ人がいる（運転ができない）
公共交通	買い物支援	移動販売、配達が一番良い。
公共交通	買い物・通院支援	買い物、通院が一番不安。解消されたらいいなと思う。
公共交通	買い物・通院支援	ふれあい号の利用が少ないから小型化して家の前まで来てくれたら。歩いてバス停まで行けない人も多い。
公共交通	買い物・通院支援	視覚障害の方の送迎時（うおな）は運転手さんが補助している
公共交通	買い物・通院支援	バスを使って診療所へ通院の際に買い物に寄るが、時間が間に合わない。
公共交通	通院支援	病院に通うのも大変、連れて行きたいが事故があったら大変。
公共交通	通院支援	医療機関への交通難民。高齢化による医療機関への受診方法の確保。免許返納等問題。コミュニティワゴンの精査、あり方の検討。
ふるさと納税	今後に向けた検討	新たな顧客の確保が課題
ふるさと納税	今後に向けた検討	外注しているので、手数料が約10%持っていわれている
商業	キャッシュレス	カード決済できる店が少ない
商業	キャッシュレス	カードポイントの有効活用

仕事	起業	起業家が少ない。あまり知られていない
仕事	起業	農協、漁協、商工会が弱体化している。営業のスキルがない。
仕事	起業	新規開業へのハードルの高さ（適切な場所がない）。開業のネックは、車が通るところに開業したいと思い、店舗を使いたいという人は多いが、商店街通りの店舗は居住しているので使えない。表通りに出したいけど出せない。
仕事	起業	情報通信環境がよくない（光通信がない）
仕事	起業	起業支援の充実
仕事	廃業・継業	小売業の衰退が顕著。サンマートがあるおかげで住民生活に影響はないが、廃業を考える人が多い。店舗数は最低限となっている。
仕事	廃業・継業	廃業する人も出ている
仕事	廃業・継業	年金ありきで生活よりも地域のための事業が多い
仕事	非正規雇用（働き方）	1人や夫婦なら生活できるが、子どもが生まれたら生活できないと思う
仕事	人手不足	労働者不足（アルバイトも含め）
空き家	利活用	空き家バンクで利用の相談はあるが、利用者の地域の理解が得づらい
空き家	閉じ方	処分したい（家主が）空き家が多い
空き家	閉じ方	転出・死亡による空き家の増加
人口対策	単独世帯化	高齢者の一人暮らしが多い
人口対策	子育て	萩市在住の子育て世代に、「阿武町での育児」を希望していても通勤や送迎がネックで諦めたという親がいた
人口対策	若者層	20代で阿武町に残っている人が少ない
人口対策	子育て	出生数が減少
人口対策	未婚化	漁師さんが出会いが少ないので、お相手に出会いにくい
人口対策	活躍層	職に就かず、家に引きこもりが意外に多い
観光	インバウンド	浜の小屋（尾無）に結構外人さん来てる
観光	インバウンド	みんなビビる（しゃべれない）
一次産業	農業	宇田郷の農業はもう継続困難（70.80代が担い手、収益も上がらん）
一次産業	農業	米農家が多い
一次産業	農業	荒廃農地増加。担い手不足
一次産業	農業	休耕田増加
一次産業	農業	畦畔の維持管理（草刈り作業）の大変さ
一次産業	農業	機械の更新費用が非常にかかる（補助金は新規のみ）
一次産業	農業	法人化したことによる農業離れ（法人まかせになっている）
一次産業	農業	スマート農業
一次産業	農業	オーナー制度
一次産業	漁業	漁師 高齢化 いない
一次産業	漁業	阿武町は資源管理型漁業発祥であることが誇ることができる

